

## 「コーチ 兼 父親 安永三郎様へ」

国民体育大会功労者表彰の受賞、本当におめでとうございます。

三郎先生の指導の下、飛び込み選手として30年の一部を共に過ごすことができとても光栄に思います。思い返せばいろいろなことがありました。どれも素晴らしい思い出として私の中に残っています。昔からとても怖がりでも新種目をいつまでたっても飛ばず、飛ばうともしていなかった自分をどんな時でも信じてくださり、自分が飛び込みから離れた際にも常に飛び込みという道を示しつつついていたいただき、そして導いてくれました。私は続けるということの大切さ、そして素晴らしさを学びそれと同時に「あきらめない心」も育むことができました。

私は、親元を離れて大学生になった時にあることを決めました。それは三郎先生に学び育てていただいたそれらのことや飛び込み技術を全国の舞台で遺憾なく発揮し、いつか好成績を残して恩返しをするというものでした。私は口で言うのがあまり得意ではないので、良い成績を修めることにより少しでも喜んでいただけるのではないかと思ったのです。このような気持ちで飛び込みに取り組み三年、ついにそれらが身を結び今年の4月にあった代表選考会高飛び込みで第3位、インターカレッジ板・高ともに第3位、そして国民体育大会3m板飛び込みで第3位になりました。中でも国民体育大会は三郎先生の受賞される大会であったので結果が出せてとても嬉しかったです。

私は今、コーチであり父親である三郎先生にとっても感謝しています。代表選考会の時、帰る時間が押しているにもかかわらず私の高飛び込みの試合を最後まで見てくださいました。山口国体で3m3位入賞した際には、近づいてきて無言で握手をしてもらいました。今の私があるのはあなたのおかげです本当に有難うございます。

最後に、シーズンが終わり少しだけ先生と話げた時のことを話したいと思います。今シーズンの成績が認められ私はナショナルチームに名を連ねることができました。少しは褒めていただけたかと思い話したところ、先生は「これからがやっとなりだぞ」と言われました。私はとても恥ずかしい気持ちになりました。まだまだ自分は未熟者だと思いました。先生が見ているものは、もっと高い位置にある。私はそこに到達したいという思いが生まれました。その高い意識を学び、多くのことを成し遂げていけるように日々努力をしていこうと思います。

やはり先生はすごい！！ たった一言で私は成長の枠をおおきく広げられました。この言葉はこれからずっと私の心の中に残っていくと思います。

終わりになりましたが、三郎先生！これからもよろしく願いいたします。安永元樹の飛び込みを完成させるためには私ひとりの力では足りません。飛ぶことが目標だった自分が全国大会で表彰台に登れる選手になりました。私はこれからその自信と誇り、学んだことを生かし日々前進していこうと思います。

日本体育大学 3年 安永元樹

P S .

12月4日受賞パーティで 花束贈呈に登場したのはまさにサプライズであった。  
私ごとで大変恐縮ですが、花束贈呈の前に手紙を披露した。この為だけに鳥取に帰ってきたのだ。こんなこというのも何かなと思うんですが……。これからはほんとに大変ですぞ。ご苦労さん。

(本人の了解も得ず私の独断で送信しました。)